

# 東日本大震災

オーストラリアで  
リスクマネジメントを考える

# パース市内で広がる復興支援活動

「被災地の方々のために、何かできないか」そう考え、個人から団体まで、多くの人たちによる震災の復興支援活動が、パースでも行なわれています。その支援活動に賛同し、いち早い復興を願う人たちからの募金が集められています。



震災発生翌日から毎日行なわれている、ストリートパフォーマンスによる義援金活動。



被災地の悲惨な状況を子どもに伝える現地の人。



毎日異なるパフォーマーたちが自然に集まり、支援を呼びかけている。



ディジュリドゥのパフォーマンスで義援金活動を行なう。



日本食レストランのレジに置かれた募金箱。貼られた写真を見て、心を痛めるお客さんの姿も。



ひとり路上に立ち、義援金活動を始める人もいる。



インフォメーションセンターのカウンターに設けられた募金箱。



台湾と香港から来たイラストレーター3人も義援金活動を行なう。



日本食レストランにて、目を引く印象的な募金箱。



社会福祉団体主催のチャリティマーケットでは、売上や寄付金など総額23,000ドル以上が寄付された。



日本食レストランのレジ横に設置された募金箱。



語学学校にて、募金を呼びかけるポスター。